

## 年生です。「テッペン」の学年です。

この通信の名前にもあるとおり、最高学年「テッペン」の6年生です。君たち6年生には2つ心にとめておいてほしいことがあるのです。

### 1 学校全体を優先

はじめは「学校全体のことを優先する」ということです。どんなことなのでしょう。具体的に例を挙げてみましょう。たとえば急に学校にお客様が来られることになったとします。するとそのために授業の予定を変更して、会場の準備をしたり、授業を見てもらったりということがあるのです。入学式や運動会といったときでもそうです。最高学年の君たちが中心となって準備の時間を持ち、その行事がうまくいくように計画や準備をしていくのです。

### 2 下級生の手本

二つ目は「下級生の手本になる」ということです。君たち6年生の行動が平群北小学校の下級生の手本となるのです。全校朝会の並び方から入退場、全校音楽での態度、そして校歌の歌い方まで5年生以下の後輩たちにはこういいます。

「6年生のようにやりなさい。」

そしてこういう良い行動がどんどんと受け継がれ、平群北小学校の伝統がつけられていくのです。

## 叱る4原則

担任は次の4つのことがあれば叱ります。

2度同じことを言っても改善しようとしないうち。  
他人の心や体を傷つけるおそれのあるとき。  
自分の心や体を傷つけるおそれのあるとき。  
わからないときに「わからない」と言わなかったとき。

逆から考えるとこれ以外では叱らないということですね。

## 学校は何をしたらいいところ？

それでは学校って何をしたらいいところなのでしょう？考えたことありますか？

担任は次の二つと考えています。

かしこくなるところ  
友だちとなかよくするところ

かしこくなるところ

そのために勉強をすることです。賢くなるためにはいろいろなことをする必要があり。ノートを取り方や筆記具に至るまで。

友だちとなかよくするところ

「テッペン」のクラスにするには一番大切なことかもしれませんね。